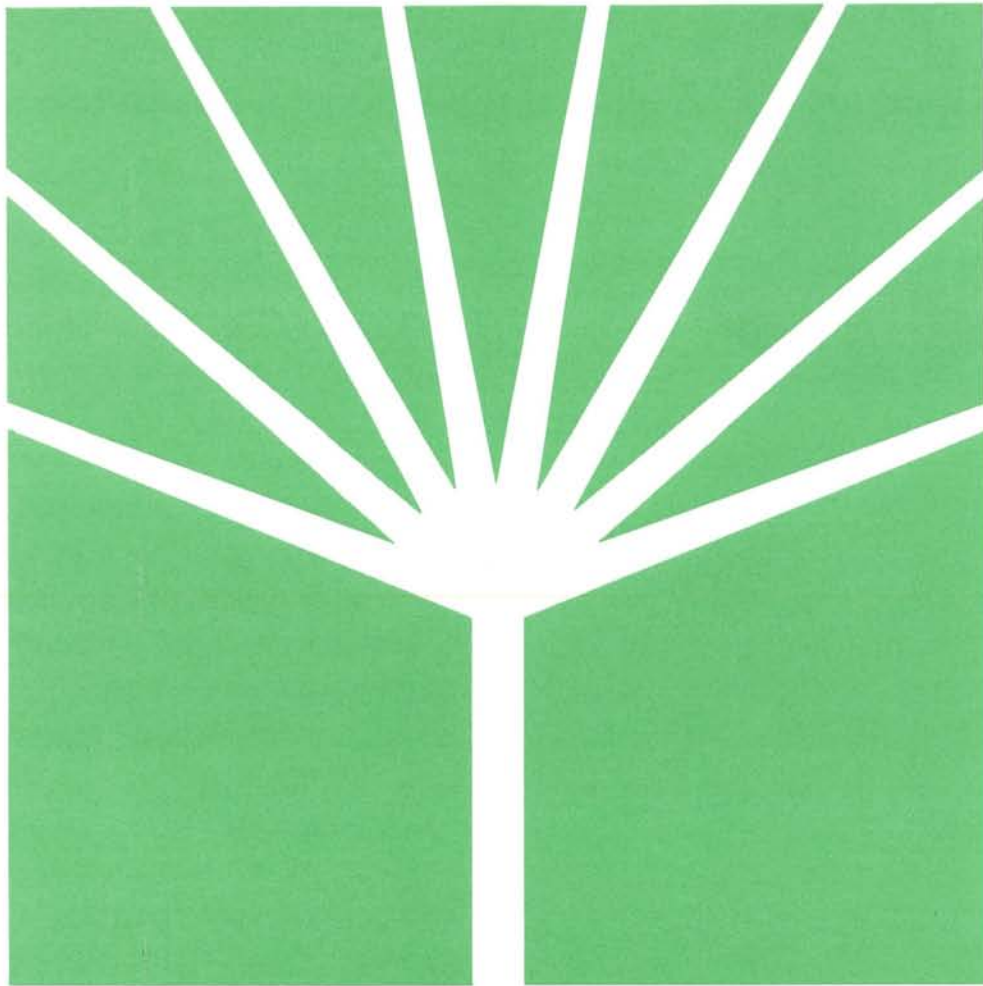


武蔵野市第二期長期計画 第二次調整計画 (平成元年～6年度)



武蔵野市第二期長期計画 第二次調整計画(平成元年～6年度)



新しい世紀への架け橋としての計画

武蔵野市長 **土屋正忠**



このたび策定いたしました武蔵野市第二期長期計画第二次調整計画は、はからずも開村100年にあたる平成元年度を始期として向う6年間の市政運営の基本を指し示すものであります。いわば武蔵野市の第二世紀を切り拓く最初の計画であると同時に、21世紀への架け橋となる計画でもあります。

昭和58年4月、平和の構造、自由の重み、豊かさの質を市民の皆様へ訴え市長に就任して以来、早いもので6年の歳月が過ぎました。この間、市民の皆様への負託に応えるため、全力を傾け市政の推進にあたってまいりました。

弛緩した庁内体制も、行政改革の推進により市政におけるムダをなくすとともに、市民の負託に応える機能体として活気あふれる開かれた市役所へ大きく変わりつつあります。また、市民の皆様並びに市議会の協力を得て、長年の懸案であった吉祥寺駅北口広場の完成、武蔵境駅北口再開発事業の着手をはじめとして、保健センターの完成、吉祥寺図書館の開館、総合体育館の建設着手など第一次調整計画に掲げられた重点事業が着実に進捗しましたことは大変喜ばしいことであります。

今回の第二次調整計画は、昭和56年2月27日市議会の議決を経た『武蔵野市第二期基本構想』に基づくものでありますが、8年の時の流れは武蔵野市をめぐる社会・経済情勢に大きな変化をもたらしました。一つは、高齢化社会の急速な進展であります。本年武蔵野市の総人口に占める65歳以上の高齢者の数は11パーセントに達しました。高齢者パワーの高まりは生涯学習など新しい多様なニーズを生んでいます。一方年少者の人口は年々低下し、就学前児童は10年前の3分の2になっており、市における幼児教育を中心的に担ってきた私立幼稚園では経



営の縮小を余儀なくされ、市立小学校では空き教室が目立つようになってきました。第二に、円高にともなう内需の拡大はモータリゼーションを一層高め吉祥寺をはじめとする市内の交通要所を激しい渋滞に巻き込みました。第三に、東京都庁の新宿移転があげられます。新宿、渋谷に接続する副々都心武蔵野市の地勢的地位は高まり、激しい地価の高騰を招きました。外国人市民の急増もみられ、国際化は余所事ではなくなりました。このような急速な変化にどう対処し、新しい世紀、新しい長期計画にどう橋渡しをしていくかが第二次調整計画の最大の課題であったといえましょう。

昨年2月、市民委員7名、行政側委員2名の9名からなる第二次調整計画策定委員会を発足させ、1年間にわたる策定作業をすすめていただきました。

これに先立ち、市では情報公開懇談会、国際交流委員会、婦人問題懇談会、子ども問題懇談会、高齢化社会総合対策調査研究委員会、障害者福祉施策検討懇談会、商業活性化対策研究委員会、緑化・環境市民委員会、アメニティ都市づくり懇談会など各種委員会、懇談会を設置し、それぞれ答申を受け、専門的、科学的観点からの策定資料の整備に努めました。

また、計画の策定にあたっては、策定委員会を中心としながら、実質的な市民参加、職員参加を熱望いたしました。専門家の先生方、市民の皆さん、そして市職員の三者が一体となって作りあげてこそ、武蔵野市の伝統を発展させるものと考えたからであります。策定作業は、市議会全員協議会、市民会議、庁内会議などにおける討議、市民からの文書による意見・要望をもとにすすめられました。新しい試みとして市民や職員による「タウ

ンウォッチング」や「サラリーマン会議」などを設定し、そこから提出された調査報告や意見を大いに参考にいたしました。さらに、これらの策定作業を組織的に支援するため、庁内に部課長を中心とした推進本部を設置し、「健康・福祉」「教育・文化」「産業・市民」「都市基盤」「行財政」の5つの行政分野別会議を設け、そのワーキングスタッフとして45名の係長以下の職員が参加しました。

このような経過を踏まえて、第二次調整計画では、重点事業として、①武蔵境駅周辺再開発事業の推進、②中央図書館の改築または新築移転、③重度・重複障害者更生・訓練施設、障害者授産施設の新設、④福祉会館の改築の4つの「ものづくり」、①健康づくり、②美しい都市（アメニティ）づくり、③子どもの生活環境づくり、④情報ネットワークの整備・充実と出張所の統廃合の4つの「しくみづくり」を取り上げるとともに、施策の体系も行政分野別に組み替え、見やすい分かりやすいものにこころがけました。

税制改革、消費税の創設など財政面における不確定要素もありますが、行財政改革の継続的推進により財政確立をはかりつつ、第二次調整計画を忠実に実行し、自由で豊かな市民生活の実現をめざして努力する所存であります。市民、市議会、市職員の皆さんの一層のご協力をお願い申し上げますとともに、このたび第二次調整計画の策定にあられた策定委員の方々ならびに関係者の皆さんに心から感謝申し上げます。

平成元年3月



CONTENTS

第1章 計画の基本的な考え方 …………… 3

——武蔵野の第二世紀を築くために——

I. これまでの成果 …………… 4

1. 第一次調整計画の方針と実績 …………… 4
2. 第一次調整計画の重点事業と実績 …………… 4
3. 第一次調整計画の個別項目と実績 …………… 6

II. これからの課題 …………… 6

1. 国政・都政と武蔵野市の自治 …………… 6
2. 武蔵野市の都市像 …………… 7
3. 三駅圏の整備方針 …………… 9

第2章 重点事業 …………… 13

1. ものづくり …………… 13

- (1) 武蔵境駅周辺再開発事業の推進 …………… 13
- (2) 中央図書館の改築または新築移転 …………… 14
- (3) 重度・重複障害者更生・訓練施設、障害者授産施設の新設 …………… 14
- (4) 福祉会館の改築 …………… 14

2. しくみづくり …………… 15

- (1) 健康づくり …………… 15
- (2) 美しい都市（アメニティ）づくり …………… 15
- (3) 子どもの生活環境づくり …………… 16
- (4) 情報ネットワークの整備・充実と出張所の統廃合 …………… 16

第3章 豊かな市民生活を実現する施策の体系 ——個別項目—— 21

I. 健康・福祉 …………… 21

1. 市民の健康 …………… 21
2. 高齢者福祉 …………… 22
- (1) 社会参加促進活動 …………… 22
- (2) 健康づくり …………… 23

- (3) 住宅対策 …………… 24

- (4) 在宅援護サービス …………… 24

- (5) 施設援護サービス …………… 25

3. 障害者福祉 …………… 26

- (1) 重度・重複障害者更生・訓練施設の新設 …………… 26

- (2) 障害者授産施設の新設 …………… 26

- (3) 保健・医療との連携強化 …………… 27

- (4) 在宅ケアの強化 …………… 27

- (5) ノーマライゼーションの実現 …………… 27

- (6) 施策の一元化の検討 …………… 28

4. 子どもの健全育成と生活環境の改善 …………… 28

- (1) 乳幼児むけ事業の体系化 …………… 29

- (2) 学童むけ事業の整備 …………… 32

- (3) 総合的な育成事業推進のしくみづくり …………… 34

II. 教育・文化 …………… 37

1. 小・中学校教育の充実 …………… 37

- (1) 学校教育の質の向上 …………… 37

- (2) 学校運営の改善 …………… 38

- (3) 学校施設の改善 …………… 38

- (4) 学校施設の有効利用 …………… 38

2. 豊かな市民文化の創造と普及 …………… 40

- (1) 中央図書館の改築など …………… 40

- (2) 国際交流事業の推進 …………… 41

- (3) 婦人関連事業の推進 …………… 41

- (4) 「緑と休養のネットワーク」の整備 …………… 41

- (5) 市民会館の改築など …………… 42

- (6) 市民芸術・文化の振興 …………… 42

- (7) 美術館構想の検討など …………… 42

- (8) 歴史資料館の建設 …………… 45

(9) 民俗資料館構想の推進	45	11. アメニティ都市づくりの推進	66
3. 市民スポーツ・野外活動の振興	46	12. 吉祥寺駅周辺の整備	66
(1) (財)スポーツ振興事業団(仮称)の設立と 市民体育のネットワークづくり	46	13. 地域計画の策定および推進	67
(2) 市内の体育施設の有効利用	46	V. 計画行政と市民参加 ——市民と市政の交流——	68
(3) 野外活動施設の整備	47	1. 都市のアイデンティティの確立と計画的・ 体系的な政策の推進	68
4. コミュニティづくりの推進	47	(1) 将来の飛躍に向けての模索の時期	68
(1) コミュニティづくりの活性化	47	(2) 開村100年記念事業	68
(2) コミュニティ構想の再検討	47	(3) 第三期基本構想・長期計画の策定	68
(3) コミュニティセンターの改築・改修計画の策定と実施	48	(4) 資料・データに基づく的確な政策判断	69
5. 生涯学習のしくみづくり	48	2. 市民サービスの向上と行政改革の推進	69
III. 産業・消費・市民生活	53	(1) 行政改革全般について	69
1. 農地の保全, 農産物の産直	53	(2) 出張所の統廃合による地域行政情報センターの創設	70
2. 商工業対策と商工会館の改築	54	(3) 市民サービス向上への工夫と努力	70
3. 労政対策	54	(4) 機構改革と職員の士気・意欲の向上をはかる工夫	72
4. 消費者行政	54	(5) 西庁舎の増築	72
5. ごみ処理問題	55	3. 市民と市政の間の情報ネットワークの整備・充実	72
6. 環境・公害問題	56	(1) 市民と市政の情報パイプの重要性	72
IV. 都市基盤	57	(2) 情報公開制度の早期実施	73
1. 公共用地の積極的な取得と活用	57	(3) 情報処理・情報提供機構の体系的整備	73
2. JR中央線の連続立体交差化事業の促進	57	(4) 情報ネットワークの地域拠点	73
3. 防災対策の推進	57	第4章 財政計画	79
4. 緑化の推進	58	資料1. 第二期長期計画・第一次調整計画・ 第二次調整計画事業項目一覧	
5. 良好な住宅ストックの形成	61	資料2. 武蔵野市第二期長期計画第二次調整計画策定の経過	
6. 道路事業の推進	62	資料3. ヒアリング招請団体	
7. 道路のアメニティの向上	64		
8. 交通対策の推進	64		
9. 駅周辺の公共用地の高度利用の検討	65		
10. 水道事業の推進	65		